

シンポジウム【看護師のHBOへの関与】 高気圧酸素治療に対する看護師のアンケート 意識調査

山田小綸¹⁾ 灘吉進也¹⁾ 甲斐雄多郎¹⁾

増田 徹¹⁾ 金子英雄¹⁾ 室屋大輔²⁾

1)社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 臨床工学科
2)社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 外科

【背景】

当院は、SECHRIST社製酸素加圧方式の装置を4台所有しており、年間約6000件の治療を行っている。臨床工学技士中心に運営しており、看護師の高気圧酸素治療（以下HBO）関連業務には、治療前準備や患者送迎の付き添い、タイムアウト、治療後患者観察などがある。

【目的】

HBOの質と安全性の向上には看護師のHBOへの支援は必要不可欠である。タスクシフト/シェアが進められている昨今、チーム医療が今後益々重要なものとなる。そこで今回、チーム医療の促進および安全なHBOを行うことを目的にアンケート調査を行ったので報告する。

【方法】

対象は病棟看護師172名、調査期間は2022年11月21日～2023年1月13日。アンケートは、Googleフォームにて行い結果を単純集計した。設問は、HBOに関する看護師意識調査とし、知識に関する内容、業務に関する内容、教育に関する内容など20項目とした。

【結果】

アンケート回収率は100%（172/172名）。

【考察】

年間6000件のHBOを行っている背景から、HBOに対し一定の理解を示していることを認めた。一方で、タイムアウトや付き添いに関して理解が不十分な看護師が散見され、また、HBOに対し不安を感じている看護師を認めた。HBOマニュアルの再周知が課題であり、今後はテクニカルな内容を加味したマニュアル作成やe-learningでのHBOの教育を行い、周知を目指したい。チーム医療を促進するためには技士からの働

きかけが重要であり、HBOの正しい知識を身につけさせることで必然的に不安解消に繋がることが示唆された。

【結語】

今回のアンケートは、看護師のHBOに対する意識調査であり、チーム医療を促進するうえで非常に有意義であった。HBOにおいて技士からの働きかけによってチーム医療の促進をはかり、HBOの安全性と質の向上を目指していかなければならない。

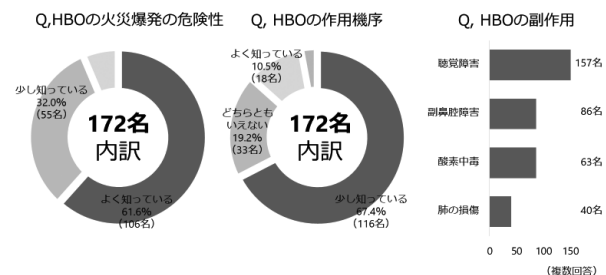


図1 アンケート結果

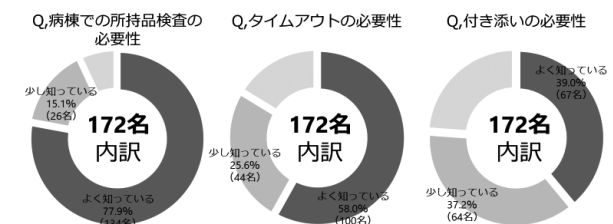


図2 アンケート結果

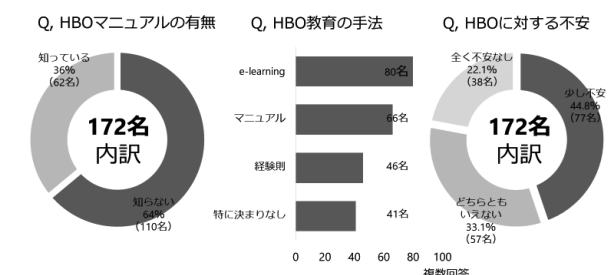


図3 アンケート結果